



平成 22 年 11 月 5 日

みなさまへ

会 社 名 株式会社ニチダイ
 代表者名 代表取締役社長 古屋 元伸
 (JASDAQ・コード 6467)
 問合せ先 取締役管理本部長 辻 寛和
 電話番号 0774-62-3481

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 6 日付「平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～9 月 30 日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 22 年 4 月 30 日付「平成 22 年 3 月期 決算短信」で公表いたしました平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異
 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	4,400	150	120	100	11 円 5 銭
実 績 値(B)	4,526	158	153	134	14 円 88 銭
増 減 額 (B-A)	126	8	33	34	
増 減 率(%)	2.9	5.5	28.0	34.7	
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,084	△412	△403	△274	△30 円 29 銭

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,550	90	60	65	7円18銭
実績値(B)	2,506	48	49	65	7円20銭
増減額 (B-A)	△43	△41	△10	0	
増減率(%)	△1.7	△45.9	△16.9	0.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,773	△318	△325	△200	△22円19銭

(3) 第2四半期(累計)業績予想値と実績値の差異理由

連結業績につきましては、アッセンブリ事業において欧州市場でのVGターボチャージャー部品の需要が引き続き回復基調にあること、NICHIDAI(THAILAND)LTD.における生産が順調に推移していることから、前回予想を上回る売上高となり、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回の業績予想を上回りました。

一方、個別業績につきましては、ネットシェイプ事業における金型部門の売上高はほぼ計画どおりで推移したものの、精密鍛造品部門で米系部品メーカー向けの量産が大幅な延期となりました。そのため、営業利益、経常利益が前回予想を下回る結果となりました。

2. 平成23年3月期通期業績予想の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,000	300	200	150	16円57銭
今回修正予想(B)	9,550	370	320	220	24円31銭
増減額 (B-A)	550	70	120	70	
増減率(%)	6.1	23.3	60.0	46.7	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	6,887	△412	△419	△450	△49円74銭

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,300	230	150	130	14円36銭
今回修正予想(B)	5,100	130	100	90	9円94銭
増減額 (B-A)	△200	△100	△50	△40	
増減率(%)	△3.8	△43.5	△33.3	△30.8	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	4,103	△327	△342	△359	△39円69銭

(3) 通期業績予想の修正理由

連結業績につきましては、アッセンブリ事業において欧州市場向けのVGターボチャージャー部品が上半期に引き続き堅調に推移し、国内、タイ双方の拠点で前回予想を超える売上高になる見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益各々の業績予想の数値の見直しを行いました。

一方、個別業績につきましては、ネットシェイプ事業の精密鍛造品部門において、米系部品メーカー向けの量産が大幅な延期となったことから、下半期の売上高が前回予想を下回る見込みとなりました。そのため、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上